

図書館だより⑤

2017年9月6日発行
那覇市立鏡原中学校図書館

新刊本

8/31までに登録した本は481冊です。あたらしい本をかりたらちゃんと期限内に返して、次の人にかしてあげてください。お願いします。



貸出状況（全学年）

2017年7月1日 ～ 2017年8月31日

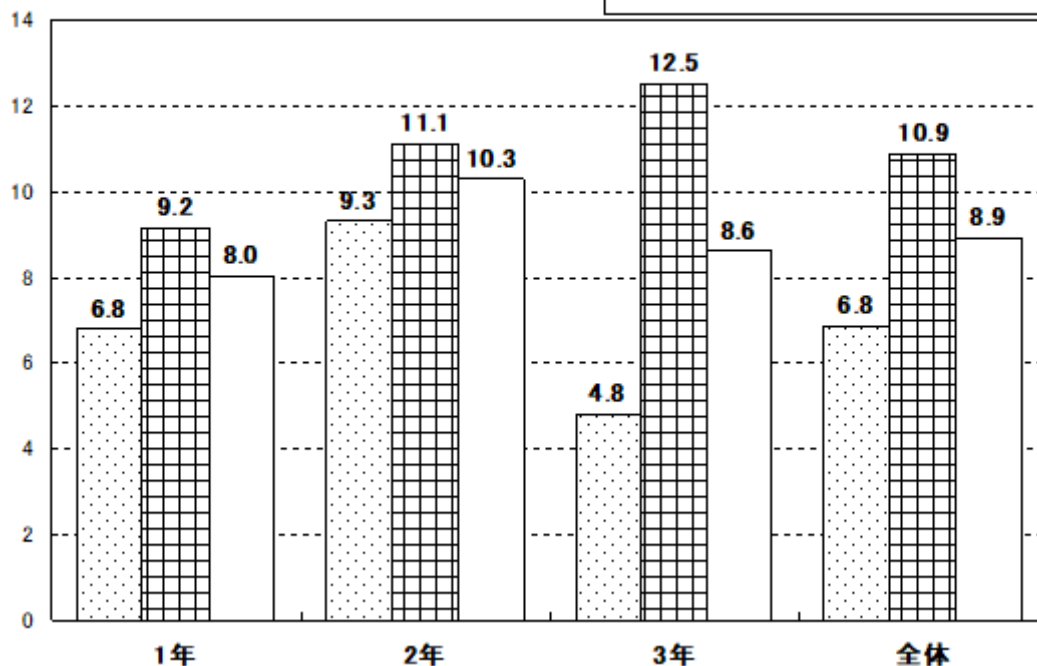
1. 学年別・男女別 貸出冊数

学年	1年	2年	3年	合計
男	680	792	473	1,945冊
女	981	1,113	1,214	3,308冊
学年合計	1,661	1,905	1,687	5,253冊

2. 学年別・男女別・一人平均 貸出冊数

(冊) 貸出統計平均(学年男女別)

□男平均 □女平均 □合計平均



い
夏休みの間に届いた本をたくさん出していきますので、ぜひ借りに来てくださ
(夏休み前にかりた本がどこにあるか、きちんと確認してくださいね)。



今月のオススメ本

ありしま たけお
有島 武郎作

ひとふさ ぶどう 『一房の葡萄』

秋も暦の上ではそろそろ近づいてくる…季節なので、今月は『一房の葡萄』を紹介しようと思います。「一房の葡萄」の他、5作品が収録されている短編童話集です。

作者は、明治生まれの文豪。大人なら、夏目漱石や芥川龍之介などと並び「一応名前ぐらいは知っている」という、有名な作家です。そういった文豪の本は、何度も出版され直します。ネット書店で「一房の葡萄」を検索してみると、購入できる本が何冊もあり、今買えない本も20件以上表示されます（作者が亡くなり50年が経ち、著作権が切れているので、青空文庫などネット上でも公開されています）。全集などの表紙のしっかりした本、文庫のイラスト違いの本など、時代に合わせて表紙や雰囲気を変え、出版し直され、愛読されているわけです。

鏡原中図書館で購入した本は「280円文庫」と言って、本としては1番安く読める文庫シリーズの1冊です。最後に「小さきものへ」という短編を持ってくるなど、短編の並びもしっかり考えられていて、そういう事を考えながら読むのもおもしろいかもしれません（ちなみに、お話の並びなどを考える仕事を「編集」と言います。編集には著作権が発生します）。

表題作「一房の葡萄」の内容は「クラスメイトの持っている美しい絵の具が羨ましくて盗んでしまう…」という、有島武郎自身の学校体験によるものだそうです。中1の国語の教科書に載っているヘッセの「少年の日の思い出」と似ているようで似ていないお話なので、あの『そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな』というセリフに衝撃を受けた2年・3年生は、ぜひこちらの作品も読んで比べてみてほしいなと思います。

（文責：うえはら）

★ 毎月第3日曜日は「ファミリー読書の日」です。

ご家庭で、親子で、本に親しむ機会を作りましょう。 ★

9月の読書目標

『深く考えて読もう。』

